

山田錦、雄町の酒米を中心に収益性の高い土地利用型作物の経営を実現

(岡山市有限会社国定農産)

岡山市南区藤田339番地
TEL:086-296-2539

国定農産のHPはこちら▶



経営概要 ▶



【経営規模（部会）】

- ◆ 栽培面積：183 ha
- ◆ 栽培品目水稲(主に酒米)、麦(もち麦 ビール麦)、ハトムギ、黒大豆
- ◆ 従業員農業部門13名 加工部門10名

【[取組の経緯]

昭和41年有限会社国定農産を設立。
昭和63年農産加工場設置し、ハトムギ製品を中心とした加工販売を開始。
平成2年農業部門にライスセンター設置。令和5年3月 シリカ製造装置を設置



岡山市



ドローンによる農薬散布

特徴的な取組 ▶



◆ 栽培の取組

・水田面積183haのうち、酒米105ha(山田錦80ha、雄町25ha)を栽培し、39haで主食用米、業務用米、加工用米を栽培。酒米の品種は、山田錦と雄町で全国有数の作付規模。
・米の裏作として、もち麦を65ha(ダイシモチ20ha、キラリモチ45ha)、ビール麦を35ha。その他に、ハトムギ2ha、黒大豆20haを栽培。健康を重視した食品や作物を育てたいと考え、平成30年からもち麦栽培を開始。

◆ スマート農機

・平成30年からドローンを活用した播種・農薬散布を全ほ場で実施。また、直進作業をアシストする、画像装置と自動操舵装置を後付け装着のトラクターにより、省力化と生産コストの低減化に取り組む。

◆ 加工・販売

・昭和63年から、自社で生産したハトムギやもち麦を使った加工品の製造販売を行い、お客様の声を反映して開発したアイテムは30種類を超え、県内のスーパー、インターネット等で全国に販売中。「国産と無添加で自然の味にこだわった商品は、安心して食べることができる。」との、リピーターも多い。

◆ 環境負荷低減の取組

・令和5年度から籾殻を利用したバイオ炭をペレット化し、農地施用に取り組んでおり、その効果を実証中。



ハト麦を加工した商品

今後の展望 ▶

- ◆ 農地の集約化とスマート農業に取り組み、コストを抑えつつ農地面積を200haに拡大したい。
- ◆ 米、もち麦、大麦の3種類の他、黒大豆も栽培の柱とし、また新たな製品開発に取り組む。